

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施策	①女性が働きやすい環境づくり
			施策の小項目名	〇ひとり親家庭の自立に向けた支援
主な取組	就労支援と子どもへの学習支援		対応する成果指標	女性の離職率
施策の方向	・ひとり親に対する支援については、自立した生活に向けて、座学研修と職業研修を組み合わせた就職支援や、就労支援と子どもへの学習支援など家庭の状況に応じた総合的な支援に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
ひとり親家庭の就労や生活基盤の安定を図るため、ひとり親に対し技能習得の支援を行うとともに、受講中の一時預かり等の子育て支援を行う。	県	ひとり親家庭技能習得支援、講座受講中の子どもの一時預かりおよび学習支援		
		支援対象世帯数(累計)		
		100世帯	100世帯(200世帯)	100世帯(300世帯)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部青少年・子ども家庭課	【 098-866-2174 】	関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/shonenkodomo/hitori/r3bosyu_naha.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		ひとり親家庭技能習得支援事業		予算事業名		ひとり親家庭技能習得支援事業
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		当初予算額
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	
一括交付金 (ソフト)	委託	55,615	60,351	一括交付金 (ソフト)	委託	62,812
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
経理事務に必要とされる資格講座（基礎・上級クラス）を実施するとともに、受講中の託児サービスを行った。				経理事務に必要とされる資格講座（基礎・上級クラス）を実施するとともに、受講中の託児サービスを行う。		

活動指標名	支援対象世帯数（累計）		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	88世帯	111世帯	108世帯	100世帯	100.0%	順調	ひとり親家庭の就労改善に役立つ技能習得を支援するため、経理事務に必要とされる資格講座を実施したほか、受講中の託児サービスを行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

仕事と子育てをひとりで担う親でも、継続的に受講できるよう、振替制のカリキュラムを構築したほか、受講生個々人のキャリアカウンセリングを実施する等、支援体制を強化したことにより計画値を達成した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
・中部地区においても上級コースを開講し、通年で講座を実施することにより、中部地区におけるひとり親家庭への支援を強化する。	・中部地区においても上級コースを開講し、通年で講座を実施することにより、中部地区におけるひとり親家庭への支援を強化した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化 (外部環境の変化)	新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、転職のための資格取得を希望して受講する生徒が多かったが、当初応募期間に間に合わなかった県民から「次年度も開講してほしい」との要望があった。	⑤ 情報発信等の強化・改善	受講生募集期間内に県民に対し十分に周知が図られるよう、SNSやラジオ、求人誌等の広告媒体を活用し周知を行う。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施策	②男女の機会均等と待遇改善
			施策の小項目名	○女性労働者の賃金・雇用管理の改善
主な取組	女性のチカラ応援宣言の実施		対応する成果指標	男性の給与を100としたときの女性の給与
施策の方向	・性別を理由とする賃金格差、ハラスメント及び高い非正規雇用率など、男性と比べて不利益を受けやすい立場にある女性労働者の労働環境を整備するため、賃金・雇用管理を改善するとともに、男女間の固定的な役割分担意識等により生じている格差の解消に向けて、女性の管理職登用の拡大等を促進することにより、女性の雇用の質の向上に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内企業や様々な業種のリーダーに”Womanちゅ応援宣言”を行ってもらい、組織や社会の意識改革を促すようなメッセージ配信、取組みの実践に努める。	県	様々な分野のリーダーによる「女性のチカラ応援宣言」の実施		
		応援宣言実施者数(累計)		
		10人	10人(20人)	10人(30人)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/heiwananjo/danjo/joseinochikara.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		女性力推進事業費		予算事業名		女性力推進事業費
主な財源	実施方法	R3年度	R4年度	R5年度		
		決算額	決算見込額	主な財源	実施方法	
県単等	委託	5,894の一部	9,338の一部	県単等	委託	17,314の一部
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内企業や様々な業種のリーダーに”Womanちゅ応援宣言”を行ってもらった。				県内企業や様々な業種のリーダーに”Womanちゅ応援宣言”を行ってもらう。		

活動指標名	応援宣言実施者数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-人	-人	24人	10人	100.0%	順調	県内企業や様々な業種のリーダーに”Womanちゅ応援宣言”を行ってもらい、組織や社会の意識改革を促すようなメッセージ配信、取組みの実践に努めることで、女性が力を発揮しやすい環境を整備していく。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県内企業や様々な業種のリーダーに”Womanちゅ応援宣言”を行ってもらい、組織や社会の意識改革のきっかけになった。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
-	近年、子育て期の女性を含め、女性の収支業率が大幅に増加していることから、就業を継続するだけでなく、実力をつけて成長し、それを公平に評価され活躍できる環境づくりが必要である。その環境作りにおいて、様々な分野のリーダーが女性を後押しする宣言を行い、周知することで、組織内の改革が促進し意識啓発につながると考え、県のHP や Twitterを毎月更新するなど活用を強化し、周知広報の新たな方法を推進した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	近年、子育て期の女性を含め、女性の収支業率が大幅に増加していることから、就業を継続するだけでなく、実力をつけて成長し、それを公平に評価され活躍できる環境づくりが必要。	⑥ 変化に対応した取組の改善	様々な分野のリーダーが女性を後押しする宣言を行い、これを周知することで、組織内の改革が促進し意識啓発につなげる。
① 県の制度、執行体制(内部要因)	“Womanちゅ応援宣言”が任意であることから、積極的な周知広報が必要。	⑤ 情報発信等の強化・改善	県HPやTwitterを毎月更新するなど活用を強化し、周知広報の新たな方法を検討する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-エ	女性が活躍できる環境づくり	施策	③女性が働き続けられるための意識啓発等の促進
			施策の小項目名	○女性が働き続けられる職場環境の整備
主な取組	男性向け講座等の実施		対応する成果指標	女性の平均勤続年数
施策の方向	・女性が働き続けられる職場環境の整備については、セミナーの開催等により、事業主、従業員双方の意識を啓発し、女性リーダーの育成を促進することに加え、男性の育児休業取得促進や女性の職業継続を支援する意欲のある企業が自主的な取組を行えるよう「女性が働き続けられる職場づくり支援プログラム」の普及・啓発に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
男女共同参画や、男性の育児休業取得の促進等に関する啓発講座等の実施	県	男女共同参画や、男性の育児休業取得の促進等に関する啓発講座等の実施		
		啓発講座等の実施回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	子ども生活福祉部女性力・平和推進課 【 098-866-2500 】		関連URL	https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kodomo/heiwanjo/danjo/joseinochikara.html

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名		女性力推進事業費		R5年度		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	5,894の一部	9,338の一部	県単等	委託	17,314の一部
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
男性の家事・育児参画に関する啓発事業として、「男女共同参画デジタルフォトコンテスト」及び巡回写真展「スウェーデンのパパたち」を開催した。				男性の家事・育児参画に資する講座の実施。		

活動指標名	啓発講座等の実施回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	3回	4回	2回	100.0%	順調	男性が家事・育児参画について主体的に取り組む環境を整備することで、社会や組織内、家庭内での男女共同参画促進にかかる意識改革を図る。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

フォトコンテストの開催によって、社会や組織内、家庭内での男女共同参画促進にかかる意識改革のきっかけになった。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
-	女性に比べ男性の育児休業取得率は依然として低いことから、男性が自らライフプランニングし、家事・育児参画について主体的に取り組む環境を整備することを推進した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	女性に比べ男性の育児休業取得率は依然として低い。	⑤ 情報発信等の強化・改善	固定的性別役割分担意識の解消に向けた講座・学習機会の提供や、女性の出産、育児に伴う負担軽減に向けた男性の育児休業取得推進に係る意識啓発に取り組む。